



2025 年 9 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社メディカルシステムネットワーク
代 表 者 名 代表取締役社長 田 尻 稻 雄
(コード番号 4350 東証スタンダード)
問 合 せ 先 経 営 管 理 部 長 今 和 章
(TEL. 011-613-7750)

調剤報酬の算定誤りに関するお知らせ

このたび、当社グループが運営する一部の保険薬局において、後発医薬品調剤体制加算の算定に誤りがあり、調剤報酬を過大に請求していたことが判明いたしました。

当社は2024年10月に本件を把握した後、すみやかに厚生労働省及び地方厚生（支）局に報告を行い、対応を協議してまいりましたが、関係先との調整に一定の期間を要したことから、結果として本件に関するご報告が遅くなりました。

協議の結果、対応の方向性が整いましたので、現時点で把握している事実及び今後の対応方針について、下記の通りお知らせいたします。

対象となる患者さま並びに関係各位には多大なご迷惑をお掛けすることになり、深くお詫びいたします。

記

1. 概要

当社が製造しているレセプトコンピュータにおいて、後発医薬品調剤体制加算の届出に必要な後発品使用率を算出する際、医薬品に付されている識別番号を取り違えたことにより、本来は後発品に含めるべきではない医薬品を誤って計算対象に含めていたことが判明いたしました。

2. 判明の経緯

当社グループの店舗職員より、後発品使用率の計算対象に含まれる医薬品について、対象外の医薬品が含まれている可能性があるとの問い合わせを受けました。当該問い合わせを受け調査を行った結果、2024年10月9日に後発品使用率の計算に誤りがあることを確認いたしました。なお、2024年10月28日にレセプトコンピュータのプログラムを修正し、当該不備は解消済みであります。

3. 影響範囲

(1) 発生期間

2020年4月～2024年10月（調剤が行われた月を基準）

(2) 対象

当社において全店舗を調査した結果、返還の対象となるのは下記のとおりとなる見通しです。

- ・店舗数：255 店舗
- ・件 数：約 242 万件
- ・患者数：約 62 万人
- ・返還額：約 191 百万円（うち患者さまへの返金合計：約 36 百万円）

※ 約 9 割の患者さまについて、返金額は 100 円未満となる見込みです。

4. 類似事象の有無の確認

当社において確認を行った結果、同様の事例は他に確認されていません。

5. 再発防止策

本件の発生に至った経緯を踏まえ、当社は現在の業務プロセスを詳細に検討し、意識面、技術面、内部統制面、体制面の4つの観点で再発防止策を講じており、特に、適切な業務分担の実施、社員教育の徹底、活発な意見交換のできる組織風土の醸成を重要な取り組みとして進めております。

6. 業績に与える影響

2021年3月期から2025年3月期までの各期における当社グループ業績への影響額は、いずれも軽微であることから、遡及修正は行いません。また、本件に係る影響額につきましては、2025年3月期の決算において、当社の見通しに基づき一部を既に計上しております。

そのため、当社グループの今期業績に与える影響は軽微と見込んでおりますが、今後、業績に重要な影響を与える事象が生じた場合には適時に開示してまいります。

7. 患者さまへの連絡、返金について

金額が確定次第、返金対象となる患者さまに対し、当社から封書にて順次ご案内をお送りいたします。なお、ご案内の発送は年明け以降となる見込みです。

また、患者さまからのお問い合わせに迅速かつ丁寧に対応するため、2025年9月5日より専用コールセンターを設置いたします。

以 上